

報道関係各位

水戸芸術館 音楽部門

～ 日本を代表する演奏家たちが、弦楽四重奏の名作をお届けします～  
「カルテット AT 水戸 第2回演奏会」開催のお知らせ

日本を代表する演奏家たちが集い、2023年に活動を開始した水戸芸術館・専属楽団「カルテット AT 水戸」が、7月13日(土)に第2回演奏会を開催いたします。

ハイドンやベートーヴェンに代表されるドイツ・オーストリア圏の作曲家によって確立された弦楽四重奏ですが、その後様々な土地で名作が生み出されました。今回の演奏会では、旧ソ連のショスタコーヴィチが亡き妻に捧げた〈弦楽四重奏曲 第7番〉や藤倉大が2020年に完成させた〈アクエリアス〉、黒人霊歌を軸とした、アフリカ系アメリカ人ヘイルストークの変奏曲と、チェコ出身のドヴォルザークがアメリカに渡って作曲した弦楽四重奏の名曲〈アメリカ〉をお届けします。

曲目に関するトークを交え、客席と一体感のあるアットホームな公演を作り上げる「カルテット AT 水戸」の演奏会を、ぜひ、貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

水戸芸術館・専属楽団  
カルテット AT 水戸 第2回演奏会

2024年7月13日(土) 14:00 開演

【会場】 水戸芸術館コンサートホールATM

【料金】 全席指定／一般 4,500円  
U-25 (25歳以下) 1,500円

【出演】 川崎洋介 (ヴァイオリン)  
西野ゆか (ヴァイオリン)  
柳瀬省太 (ヴィオラ)  
辻本玲 (チェロ)

【曲目】

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第7番 嬰へ短調 作品108

藤倉大：弦楽四重奏曲 第3番 〈アクエリアス〉

ヘイルストーク：弦楽四重奏曲 第2番 〈スウィング・ロー・スウィート・チャリオット〉による変奏曲

ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 第12番 へ長調 作品96 〈アメリカ〉

【チケット取り扱い】 好評発売中

水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

[電話] チケット予約センター Tel.029-231-8000

[WEB] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団



第1回演奏会の様子

【お問合せ】 企画について：水戸芸術館音楽部門 (担当：関根) Tel.029-227-8118

ご掲載について：水戸芸術館広報係 (担当：井坂、川崎) Tel.029-227-8111

E-mail. [kouhou@arttowermito.or.jp](mailto:kouhou@arttowermito.or.jp)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

## 出演者プロフィール



川崎洋介 / ヴァイオリン

6歳から父・川崎雅夫に手ほどきを受けヴァイオリンを始める。10歳でジュリアード音楽院予科に入学を認められ、D.ディレイ、H.カン、F.ガリミア、J.スミルノフに師事、1998年にジュリアード音楽院卒業。アラバマ州モンゴメリー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団のコンサートマスターを歴任し、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとしても活躍。小澤征爾、ピンカス・ズッカーマン、ヨーヨー・マ等との共演し、カーネギーホール、サントリーホール、ロイヤル・コンサートヘボウなど世界有数のホールに出演している。「トリオ・インク」のメンバー、アフィニス夏の音楽祭の音楽監督、ブルガリアの室内楽音楽祭「オフ・ザ・ビートゥン・パス」のアーティストック・アドヴァイザーなど室内楽での活動も目覚ましい。現在カナダのオタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団のコンサートマスター、及びNHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務める。



西野ゆか / ヴァイオリン

桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学研究科修了。大学在学中にクアルテット・エクセルシオを結成する。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール（イタリア）において最高位、併せてサルバトーレ・シャリーノ特別賞など受賞。また第19回新日鐵音楽賞『フレッシュアーティスト賞』、第16回ホテルオークラ音楽賞を弦楽四重奏団として初めて受賞する。2010年10月より16年の6月までの6年間サントリーホールの『室内楽アカデミー』で、コーチング・ファカルティを勤める。2017年4月より浦安音楽ホールのレジデンシャル・アーティスト、2023年5月には秋川キララホールのアンバサダーに就任。クアルテット・エクセルシオ第1ヴァイオリン奏者。



柳瀬省太 / ヴィオラ

東京藝術大学音楽学卒業後、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに学ぶ。第52回ジュネーヴ国際音楽コンクールディプロマ賞。第1回淡路島しづかホールヴィオラコンクール第1位。第1回松方ホール音楽賞、大阪文化祭賞受賞。2002年、文化庁芸術家在外派遣研修生としてイタリア・パドヴァに留学。マリオ・ブルネオ主宰のオーケストラ・ダルキ・イタリアーナで活動。2004年ドイツに渡り、シュトゥットガルト州立歌劇場管弦楽団に入団。2009年帰国、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者を経て、2014年より読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。松本、宮崎、北九州など音楽祭の参加、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏、室内楽シリーズ、ストリングクアルテットARCOのメンバーを務めるなど、室内楽奏者として活躍している。



辻本玲 / チェロ

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位（「聴衆賞」受賞）。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース（「レコード芸術」誌特選盤）。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭に参加するほか、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」など室内楽でも活動。NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを特別に貸与されている。